

1. 推進主体

(一社) CiP協議会※1において、デジタルサイネージWG、都市サービス高度化WGでの議論を踏まえた取組を推進するため協議会内に先行導入検討チーム(仮称)を設置。

※1 東京・竹芝にデジタル×コンテンツの産業集積地を創るべく、一般社団法人CiP協議会を設立。ラボやスタジオなど8,000㎡の共同施設を設置する予定。東京都の土地を活用する東急不動産・鹿島建設の事業で、慶應義塾大学が企画運営に参加(理事会員:(株)アルベログランデ※2、(株)NTTドコモ、(株)エフエム東京、グリー(株)、吉本興業等)

※2 本施設を整備するため、東急不動産(株)と鹿島建設(株)が設立した事業会社

2. 取組内容

竹芝地区周辺(浜松町エリア等)において、デジタルサイネージWGや都市サービス高度化WGで検討中のクラウド技術やインターネット技術を活用する「2020デジタルサイネージシステム国内標準仕様」を採り入れたデジタルサイネージ等を導入し、訪日外国人に対する個人の属性(言語)等に応じた最適な情報提供、災害時における一斉情報配信等について検証を行った上で先行導入の検討を進める。

3. 実現時期

2016年度から先行導入地域で検証した上で、2020年度までにデジタルサイネージ等のICTの導入をめざす

4. 先行導入場所

竹芝地区周辺(例:港、ホテル、商業施設等)での検証を実施予定。